

# 東アジア人文情報学から人文情報学イノベーションへ 京都大学人文科学研究所附属人文情報学創新センター(安岡孝一)

京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センターは、2023年10月1日に、京都大学人文科学研究所附属人文情報学創新センターへと改組をおこなった。これまで、文字といえば漢字、言語といえば漢文、目録といえば漢籍、を中心に人文情報学を積み重ねてきたわれわれは、とうとう東アジアを飛び出し、世界に打って出たわけである。

世界に打って出たとは言っても、文字に関しては、ISO/IEC 10646 (Unicode) が世界中の文字を収集しているので、これを適宜拡張する形で何とかかなりそうだ。言語に関しては、Universal Dependencies による係り受けコーパスと、BERT に代表される言語モデルの組み合わせで、そこそこモデリングはできそうだが、まだまだ研究の余地が多く残されているし、新たな手法の開発を待つ必要もあるだろう。

悩ましいのは、目録である。漢籍目録に関しては、IFLA LRM の aggregate に押し込むことで、世界的な目録規則に適応可能である。雑誌記事に関しては、東洋学文献類目で培った技術を、ある程度は援用可能だろう。しかし、ミニコミ誌、同人誌、パンフレット、チラシなどを、果たして、どう目録化していくのか。デジタル・アーカイブの手法で十分なのか。

著作権 70 年延長における「1968 年の壁」は、近現代史料に関してはダメージが大きく、いくらデジタル画像を作っても、画像そのものは WWW 公開できない。ならば、人文情報学創新センターに画像があって「閲覧可能」ということを世界に知らせるべく、目録を「うまい形で」公開していくしかない。そんなことが本当に可能なのか。各機関のお知恵を拝借したい。

### 設立趣旨

人文科学研究所は、1965年に東洋学文献センターを設置して以降、漢字情報研究センター、東アジア人文情報学研究センターへと改組しながら、漢字史料の研究と情報化を進めてきた。また2010年代以降は、「みやこの学術資源研究・活用プロジェクト」を組織し、企業・団体・個人等が所蔵する近現代日本社会に関わる諸史料の収集・整理もおこなってきたが、残されている史料の点数は膨大である。

そのため情報化は遅れ、これからの人文研究にとって重要な学術資源が逸失してしまう危機に直面している。

そこで、東アジア人文情報学研究センターのノウハウを近現代史料にも応用し、史料の形態や種別に関わらない汎用的な学術資源の情報化・情報発信に取り組みため、2023年、東アジア人文情報学研究センターを人文情報学創新センターへと改組することとした。

人文情報学創新センターは、中国伝世文献史料から近現代日本社会史料におよぶ多様な人文学術資源の情報化の方途を開拓すると同時に、研究者と市民が同じ史料群に向き合い、この時代にふさわしい新価値創出のために協働して社会に発信するという「市民との協業」を重視し、人文学の新共創モデルの構築も目指している。

---

### 人文情報学創新センター

- 文化研究創成研究部門
- 文化生成研究部門
- 文化連関研究部門
- 文化表象研究部門
- 文化構成研究部門
- 現代中国研究センター

#### 漢字史料研究セクション

人文科学研究所では、中国書の大半がセンターで所蔵・運用され、センター図書室が雑誌を含めた所外の利用者にも閲覧・複写の便宜を提供する。これらの図書は漢籍と現代中国書に分かれ、前者は経・史・子・集の四部（実際は叢書部を加えた五部）分類法で配架される。前身の組織以来、収集に努めた中国関係の書籍は今日では40万冊に近く、世界有数の質と量を誇る。漢字史料研究セクションでは、それら中国伝世文献の調査研究を進める。

#### 近現代史料研究セクション

近現代史料研究セクションは、これまで人文研が進めてきた「みやこの学術資源研究・活用プロジェクト」を継承しつつ、滅失や散逸の危機にある企業・学術機関・芸術家・宗教団体・地域社会等の所蔵資料を、市民と協働して整理して文化学術資源としての保存と活用を行う。コミュニティ・カレッジ等を通じて市民とアカデミアの知の融合を図り、新しい文化の創造に貢献し、地域活性化に資する市民を育成する。

#### 人文情報学研究プラットフォーム

センターの情報発信を担い、基盤となる各種データベース・デジタルアーカイブの研究開発および運用をおこなう。同時に、東洋学デジタル図書館など、過去に開発してきたデータベース等の保守および拡張も担う。人文情報学の基礎となるプラットフォームだが、発信の手段は必ずしもデジタルにこだわらず、出版など旧来の手法や、新たな双方向的な手段も模索しつつ、研究者のみならず市民の活用にも資する人文情報学を構築する。

Diagram illustrating the syntactic structure of the Japanese sentence: 虎穴に入らざれば虎子を得ず。 (If you do not enter the tiger's den, you will not get the tiger's cub.)

Diagram illustrating the syntactic structure of the Korean sentence: 호랑이 굴에 들어가지 않는다면 호랑이 새끼를 얻을 수 없다.

Diagram illustrating the syntactic structure of the Thai sentence: 不入虎穴不得虎子

Diagram illustrating the syntactic structure of the Thai sentence: 不入虎穴不得虎子

Diagram illustrating the syntactic structure of the Thai sentence: 不入虎穴不得虎子

Diagram illustrating the syntactic structure of the Thai sentence: 不入虎穴不得虎子